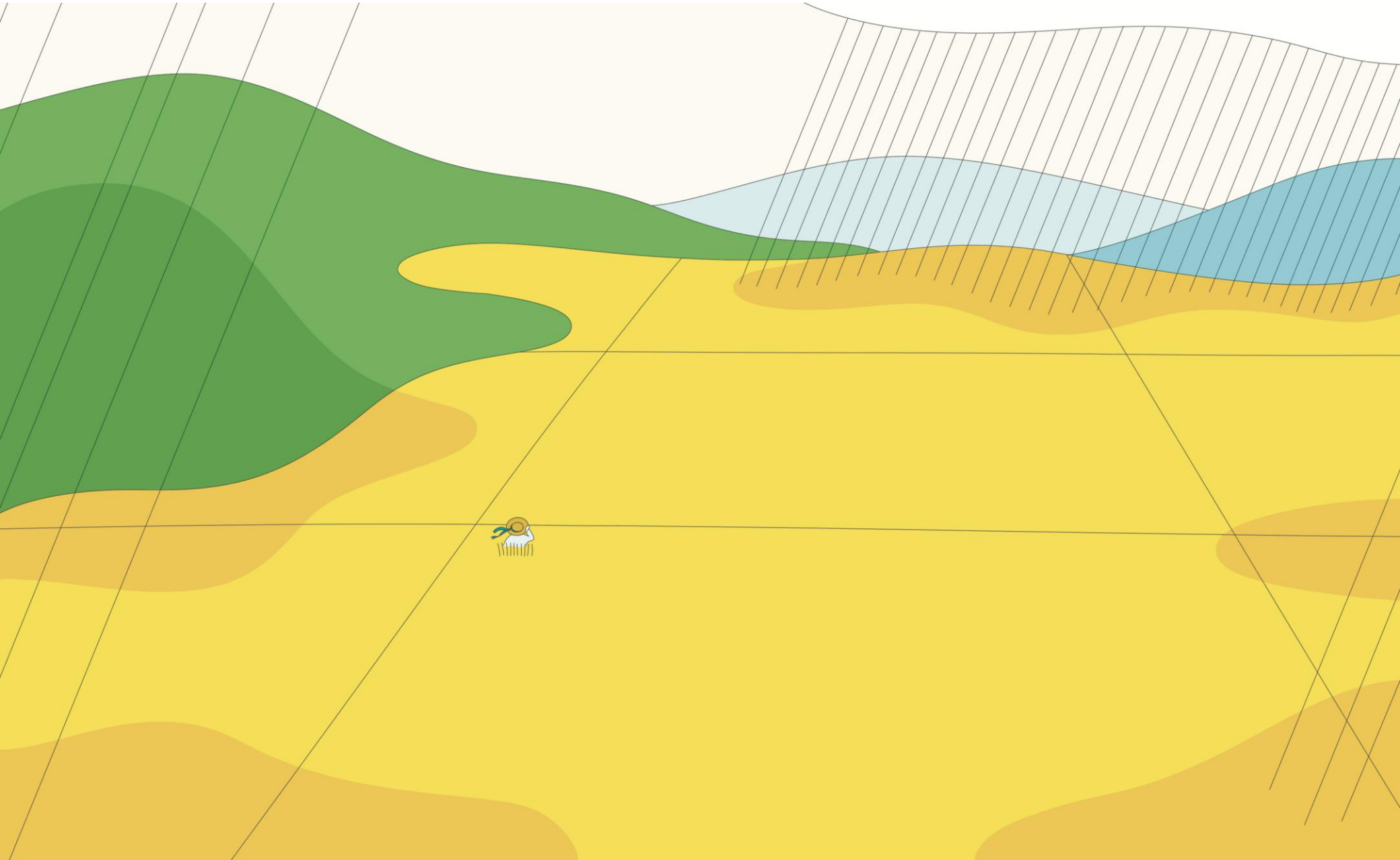
2026年度中間期　決算の概要

2026年11月13日

ともに挑む。ともに実る。
MIZUHO みずほフィナンシャルグループ



〈みずほ〉とアート

〈みずほ〉は、東京藝術大学と連携し、「アートでもっと元気に」、「アートをもっと身近に」、「アートの力で変わりたい」をコンセプトに掲げ、ジェンダーフリーやウェルビーイングの実現、イノベーション創出などの社会的な課題の解決に貢献するとともに、経済だけでなくアートも文化も持続性ある豊かな社会を共創していくことを目指しています。

東京藝術大学の学生の方に、〈みずほ〉のパーパス「ともに挑む。ともに実る。」から得た着想を具現化していただきました。株主・投資家の皆さま向けの決算資料の表紙にアート作品を掲載するのは、2023年11月を初の試みとし、今回が13作品目です。4年目を迎えた今年は、デザイン科に加えて絵画科油画専攻(油画・版画)にも募集を拡大し、表現の幅を広げています。

TOKYO GEIDAI | MIZUHO

Learn more>>>
〈みずほ〉コーポレートサイト
藝大連携プロジェクト

作　者　**佐田　唯香**
東京藝術大学 デザイン科　修士２年

作品名　**「その先を見つめる」**

これまで着実に築いてきた広大な土壌と実りの中で、

時には激しい雨を抜け、

私たちはより豊かで幸福な未来をみる。



2026年度中間期　決算総括

実績	引き続き顧客部門・市場部門ともに好調な業績。 適切な経費運営も寄与し、連結業務純益・ 親会社株主純利益ともに高い進捗率	親会社株主純利益 **8,964億円** 7月開示見通しに対する 進捗率64%
業績見通し	好調な上期業績と日銀による追加利上げも踏まえ 7月に続き業績見通しを上方修正 注力ビジネスを中心に、着実な利益成長を展望	親会社株主純利益 **16,000億円** 7月開示比+2,000億円 (5月開示比+3,000億円)
1株当たり配当金	2026年度 年間配当予想を200円へ増額 （5月開示比+50円）	年間配当予想 **200円**
自己株式取得	追加の自己株式取得2,000億円を決議 （年度累計4,000億円）	自己株式取得（追加） **2,000億円**

決算の概要

（億円）

			FY26 中間期	前年同期比
A	連結粗利益[1]	❶	21,027	+4,296
B	経費[2]	❷	△10,413	△774
C	**連結業務純益[1]**	❸	**10,994**	+3,695
D	うち顧客部門		*7,382*	*+1,926*[4]
E	うち市場部門		*3,336*	*+1,414*[4]
F	与信関係費用	❹	△75	△399
G	株式等関係損益[3]		1,700	+837
H	経常利益		12,523	+4,027
I	特別損益		△20[5]	△511
J	**親会社株主純利益**	❺	**8,964**	+2,065
K	**東証基準ROE[6]** **直近12ヵ月実績[7]**	❻	**13.1%**	+3.8%
	中間期実績・年換算[8]		**15.9%**	+3.0%
L	経費率（B÷A）		49.5%	△8.0%

❶連結粗利益 ： YoY+25.6%

引き続き企業活動の活況が続く国内法人ビジネス、市場のボラティリティを的確に捉えた国内外セールス＆トレーディングおよびバンキングの好調に加え、円金利上昇影響もあり、大幅増益

❷経費 ：

成長領域やサイバー対応等のガバナンス強化に向けた資源投下に加え、為替・インフレ等の不可避的増加も相まって、前年同期比は増加。
粗利伸長に加え、適切な経費コントロールにより、経費率は着実に改善

❸連結業務純益 ： YoY+50.6%

好調に推移した粗利を主因に前年同期比+3,695億円の着地。
7月に開示した業績見通し17,500億円に対し62%の進捗

❹与信関係費用 ：

前年度計上した大口戻入益の剥落により前年同期比増加も、
通期見通し△1,100億円に対し進捗率6%と限定的な費用発生

❺親会社株主純利益 ： YoY+29.9%

業務純益の大幅伸長を主因に前年同期比+2,065億円の大幅増益。
7月に開示した業績見通し14,000億円に対し64%の進捗。
3年連続で中間期時点の最高益を更新

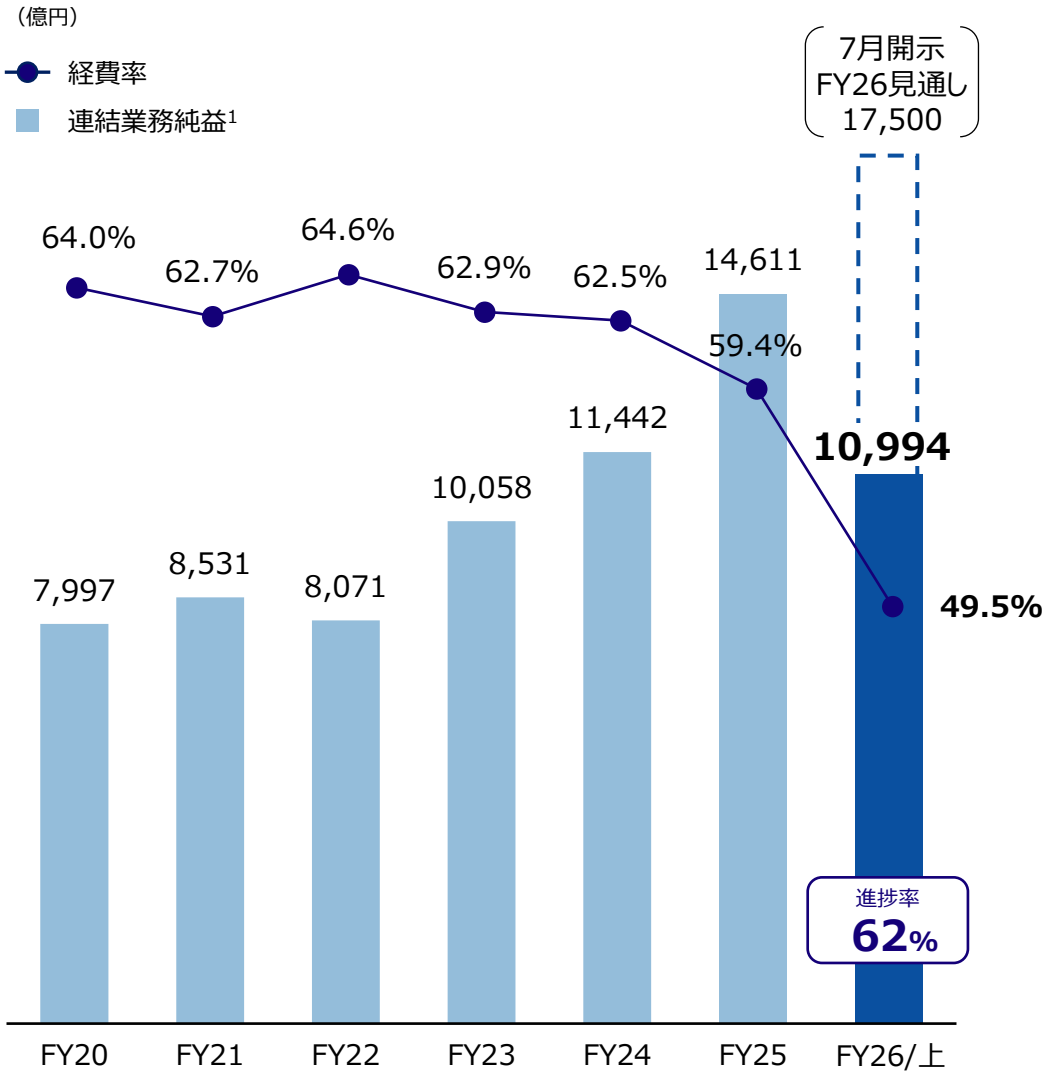
❻東証基準ROE：

継続的な利益成長を主因に前年同期比+3.8%ptと大幅に良化

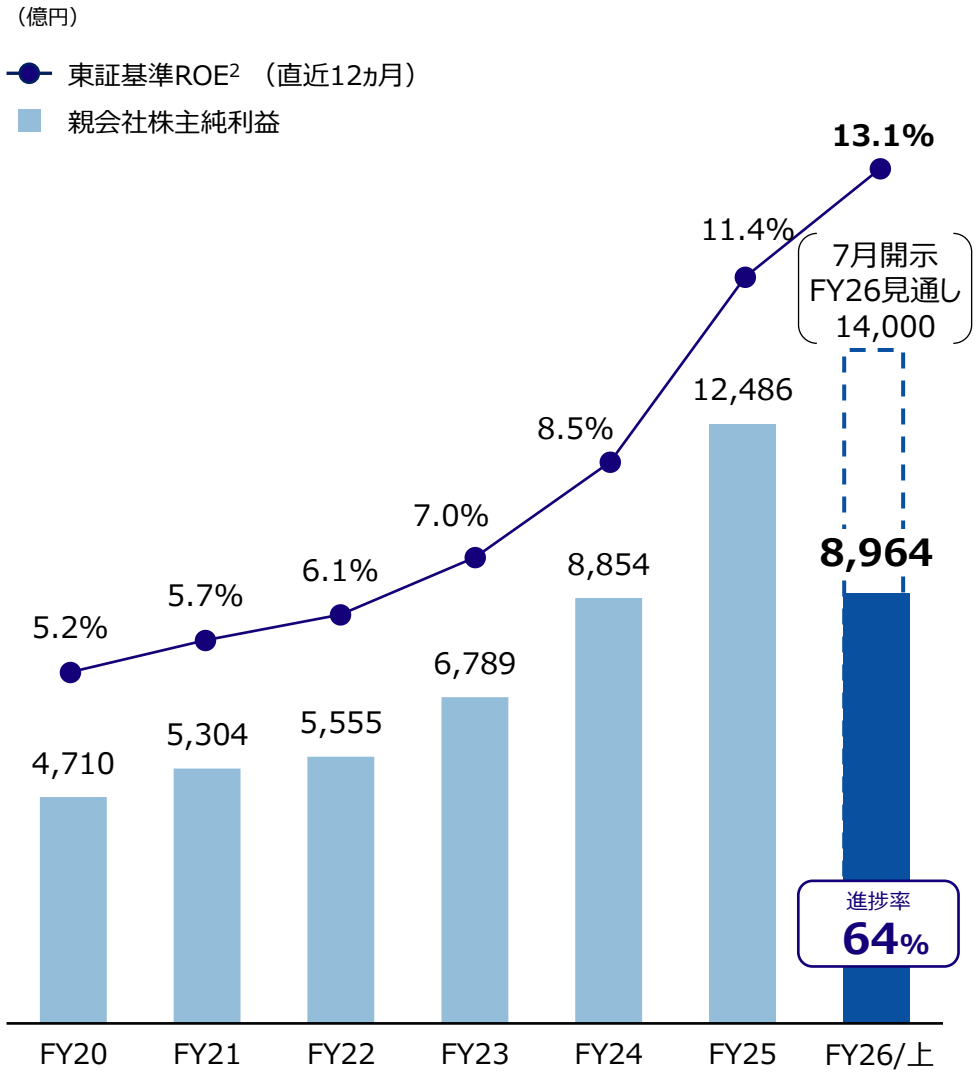
1. ETF関係損益等349億円（前年同期比△91億円）を含む 2. 臨時処理分等を除く 3. ETF関係損益等を除く 4. 前年度の計数をFY26管理会計ルールに組み替えて算出
5. 退職給付信託返還益31億円（前年同期比△353億円）を含む 6. その他有価証券評価差額金を含む 7. 自己資本は直近12ヵ月の期首期末平均
8. 親会社株主純利益中間期実績を2倍の上算出。自己資本は今年度の期首期末平均

業績推移

連結業務純益・経費率



親会社株主純利益・東証基準ROE



1. ETF関係損益等を含む 2. その他有価証券評価差額金を含む

カンパニー別業績

（億円、グループ合算、速報値）

	業務粗利益		経費		業務純益			中間純利益			ROE[3]
	FY26 中間期	前年同期比[1]	FY26 中間期	前年同期比[1]	FY26 中間期	前年同期比[1]		FY26 中間期	前年同期比[1]		FY26 中間期
顧客部門	**15,202**	**+2,313**	**△8,191**	**△564**	**7,382**	**+1,926**	**+35%**	**6,248**	**+1,226**	**+24%**	**11.2%**
RBC	5,532	+1,078	△3,817	△282	1,790	+841	+89%	1,236	+457	+59%	8.0%
CIBC	4,498	+1,123	△1,309	△107	3,323	+1,078	+48%	3,459	+980	+40%	16.4%
GCIBC	4,849	+162	△2,873	△217	2,149	△0	△0%	1,490	△217	△13%	7.2%
AMC	324	△49	△193	+41	120	+8	+7%	63	+6	+11%	15.5%
市場部門（GMC）[2]	**5,557**	**+1,629**	**△2,221**	**△215**	**3,336**	**+1,414**	**+74%**	**2,293**	**+928**	**+68%**	**9.8%**
バンキング[2]	2,665	+1,170	△287	△21	2,379	+1,148	+93%				
セールス&トレーディング	2,892	+460	△1,935	△194	957	+266	+38%				

1. 前年同期の計数をFY26管理会計ルールに組み替えて算出 2. 2行合算のETF関係損益を含む 3. カンパニー別ROE：直近12ヵ月

B/Sの概要[1]（26年9月末）

総資産 320兆円 (+18.6)

貸出金
102 (+3.0)

有価証券
46 (+3.9)

日本国債	18.5（+3.1）
外国債券	17.9（+0.6）

その他
171 (+11.5)

現金・預け金	64.1（+2.6）
うち日銀預け金[2]	*45.3*（△*2.3*）

預金・譲渡性預金
183 (+5.6)

	前年同期比
国内円貨[2]	123.2（△0.7）（+2.0）
うち個人	*48.9*（+*0.0*）（+*0.2*）
うち法人	*74.2*（△*0.7*）（+*1.8*）
国内外貨[2]	7.1（+2.0）
海外[3]	53.1（+4.3）

その他
126 (+13.0)

純資産
11 (△0.1)

うち外貨建て[4]

- 貸出金を顧客預金と社債・通貨スワップ等の安定的な中長期調達でカバー

5,610億ドル (+606)

貸出金
2,870 (+91)

有価証券
1,055 (+17)

その他
1,685 (+498)

顧客預金
2,716 (+511)

国内+海外日系	約50%
海外非日系	約50%
米州	約20%
EMEA	約10%
APAC	約20%

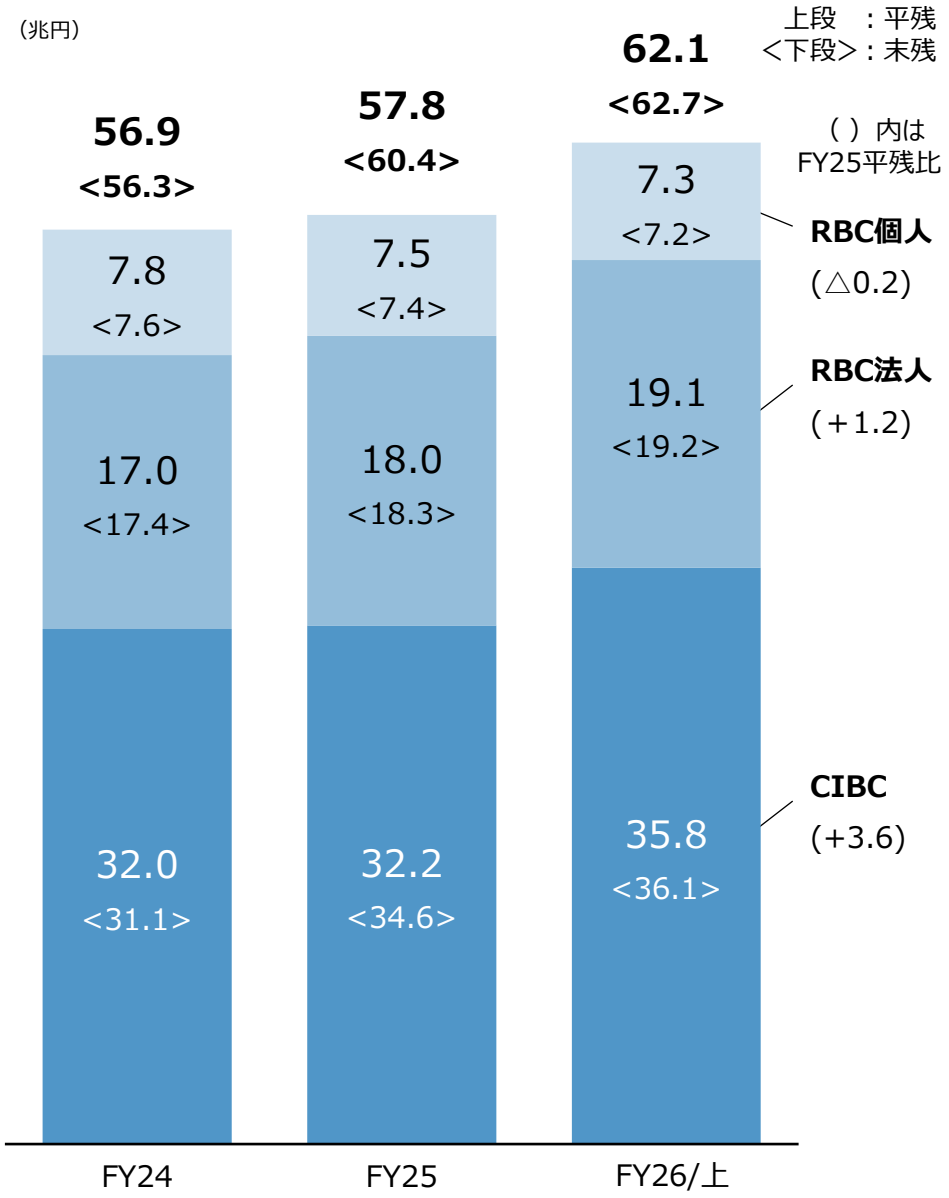
中長期調達[5]
1,197 (+114)

市場性調達[6]
1,231 (+125)

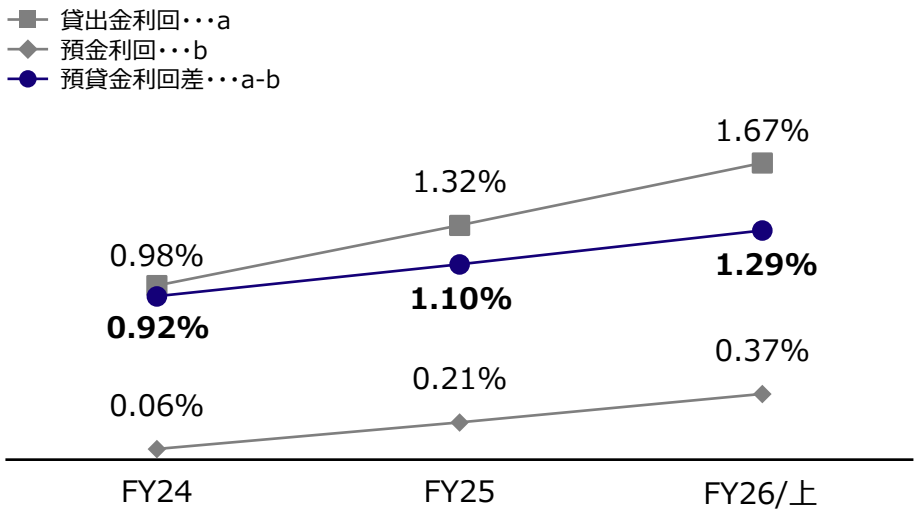
CD・CP
466 (△145)

1.（）は26/3末対比 2. 2行合算 3. 海外支店、その他海外子会社等 4. BK（含む海外現法）＋TB、FY26管理会計ルール 5. 社債、通貨スワップ等 6. レポ、インターバンク、中銀預金等

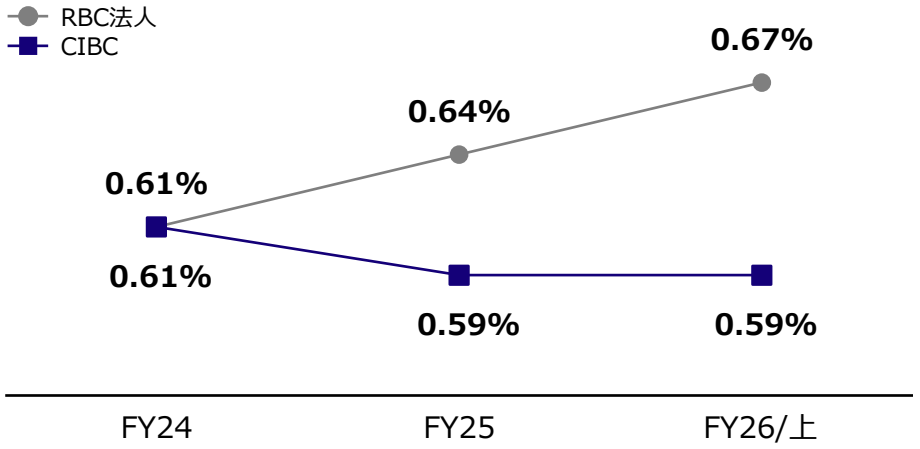
国内貸出金[1]



預貸金利回差[2]



貸出金スプレッド

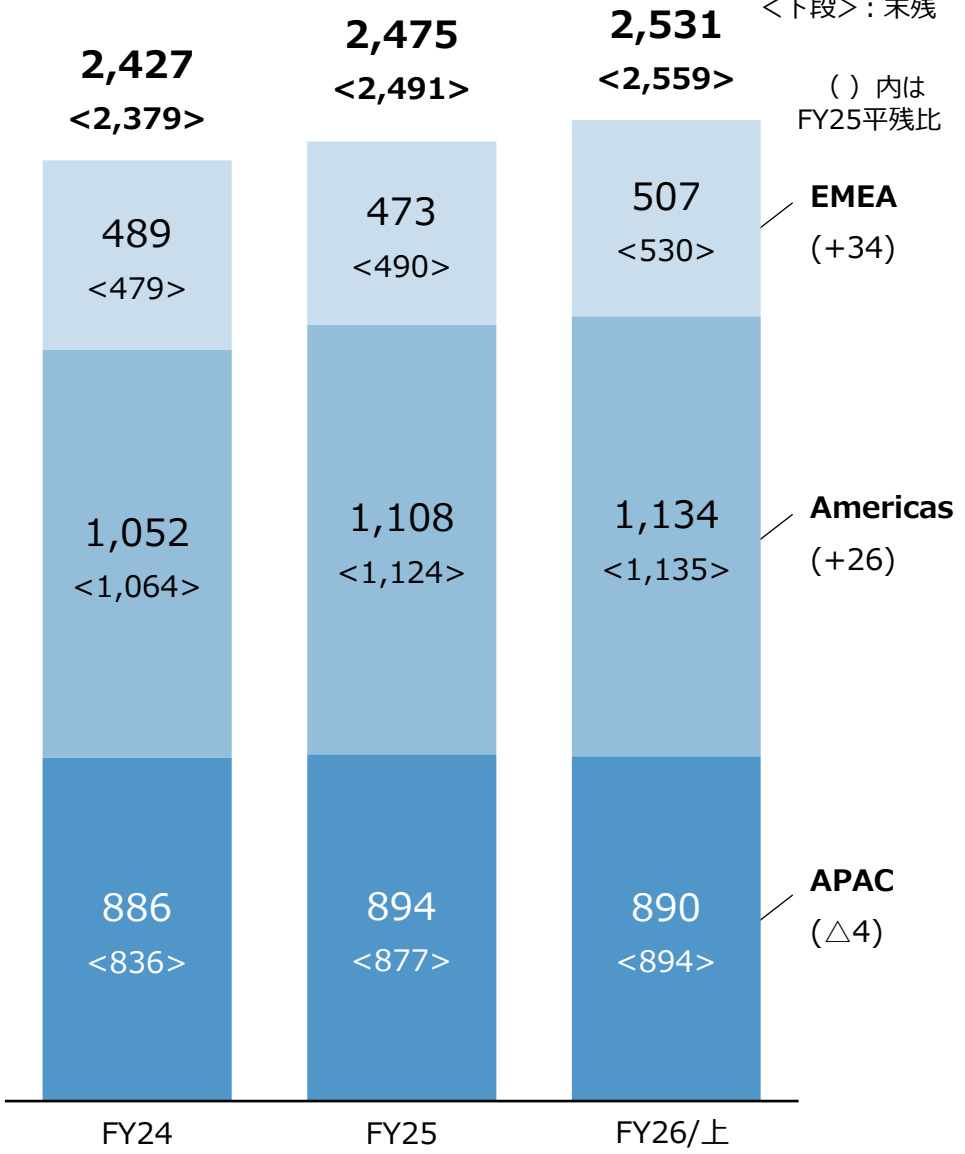


1. BK+TB、FY26管理会計ルール（FY24～FY25は遡及修正）、グループ内貸出金・政府等向け貸出金を除く　2. 2行合算、金融機関（FGを含む）・政府等向け貸出金を除く、国内業務部門

海外貸出金[1]

（億ドル）

上段　：平残
<下段>：未残



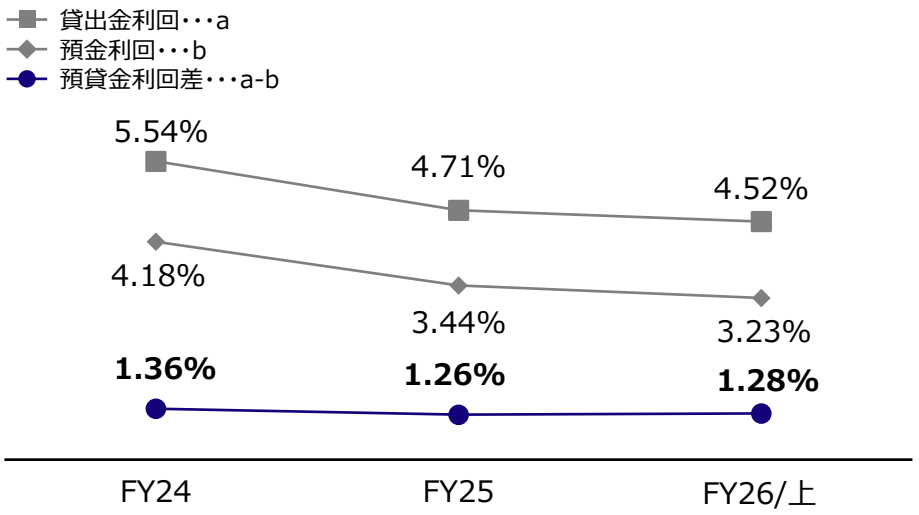
（ ）内は
FY25平残比

EMEA
(+34)

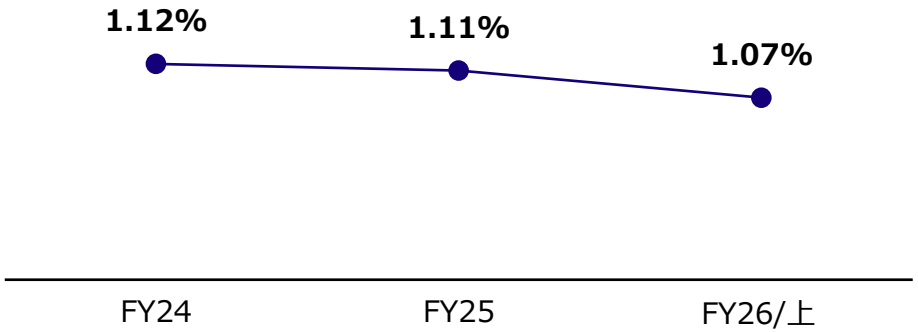
Americas
(+26)

APAC
(△4)

預貸金利回差[2]



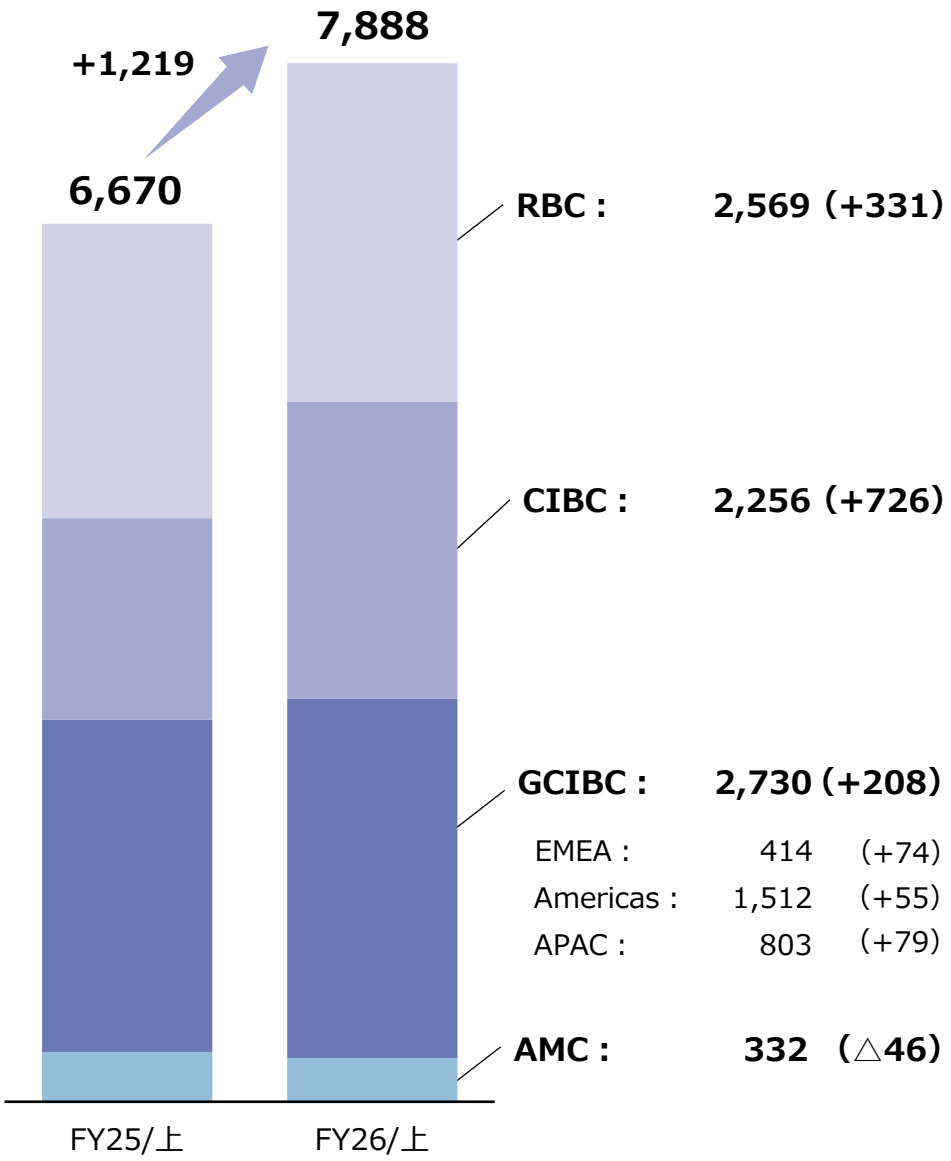
貸出金スプレッド



1. BK（含む中国、米国、オランダ、インドネシア、マレーシア、ロシア、ブラジル、メキシコ現地法人）、FY26管理会計ルール（FY24~25は遡及修正）、グループ内貸出金を除く 2. BK、国際業務部門

非金利ビジネス[1]

（億円、（）内は前年同期比）



RBC：　2,569（+331）

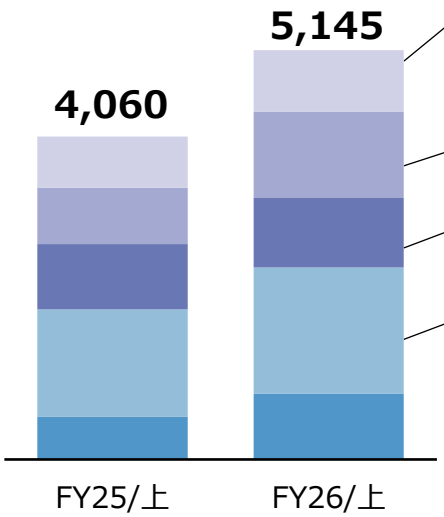
CIBC：　2,256（+726）

GCIBC：　2,730（+208）

EMEA：　414　（+74）
Americas：　1,512　（+55）
APAC：　803　（+79）

AMC：　332　（△46）

国内



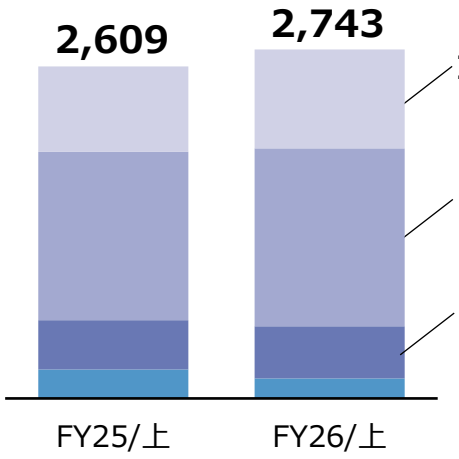
IBビジネス・不動産：　775（+132）
IBビジネス：　390　（+17）
不動産：　385　（+116）

ファイナンス[2]：　1,082（+374）

トランザクション[3]：　873　（+51）

資産運用・管理：　1,653（+258）
うちウェルスマネジメント[4]：　*879*（*+103*）
うちアセットマネジメント[5]：　*587*（*+108*）

海外



IBビジネス：　778（+107）

ファイナンス[2]：　1,398　（+76）

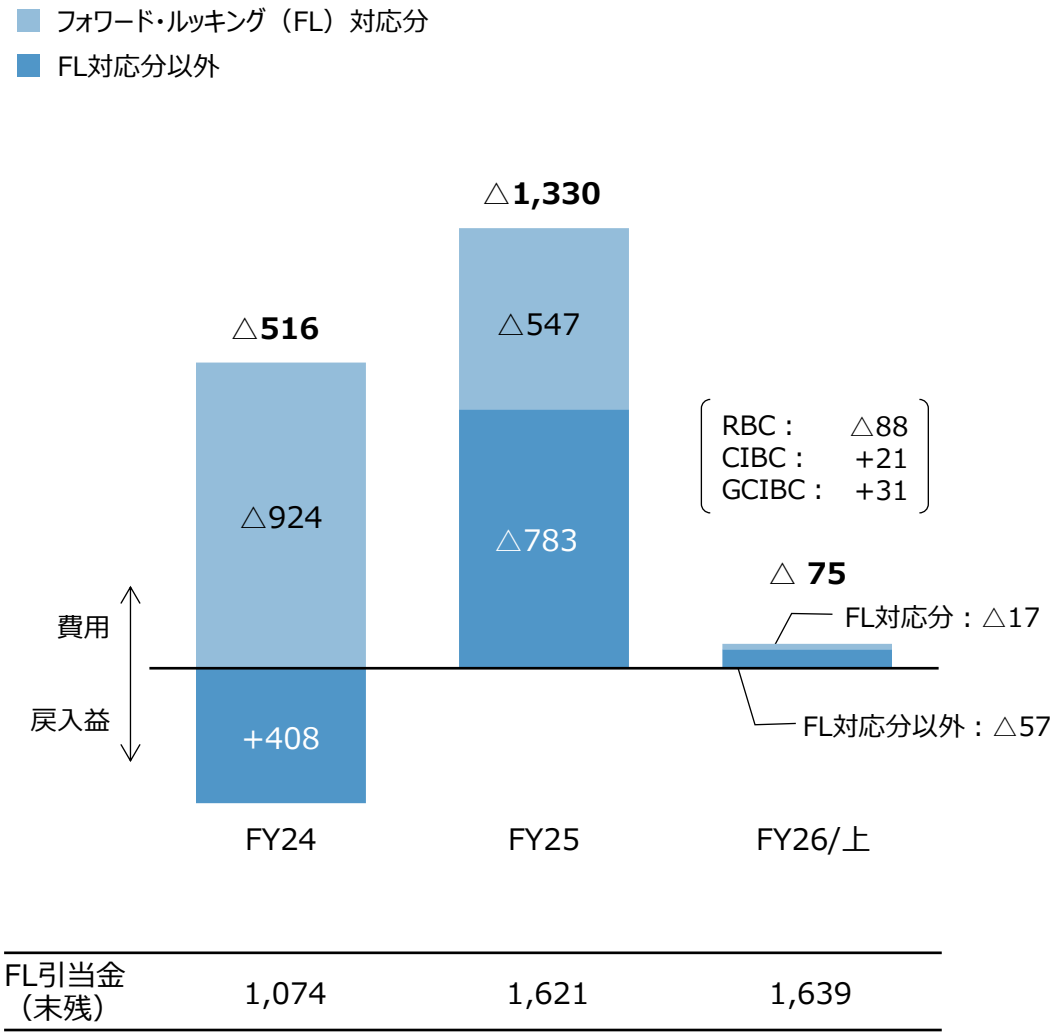
トランザクション[3]：　410　（+22）

1. FY26管理会計ルール、過年度計数を遡及修正。変更前の計数は、FY25: 6,688億円 2. 融資アレンジメント・取扱手数料、コミットメントフィー等 3. 内為、外為、決済関連等
4. BK投信・保険＋TB・SC個人セグメント、PBセグメント 5. AM-One＋BK・TB年金運用

アセットクオリティ

与信関係費用

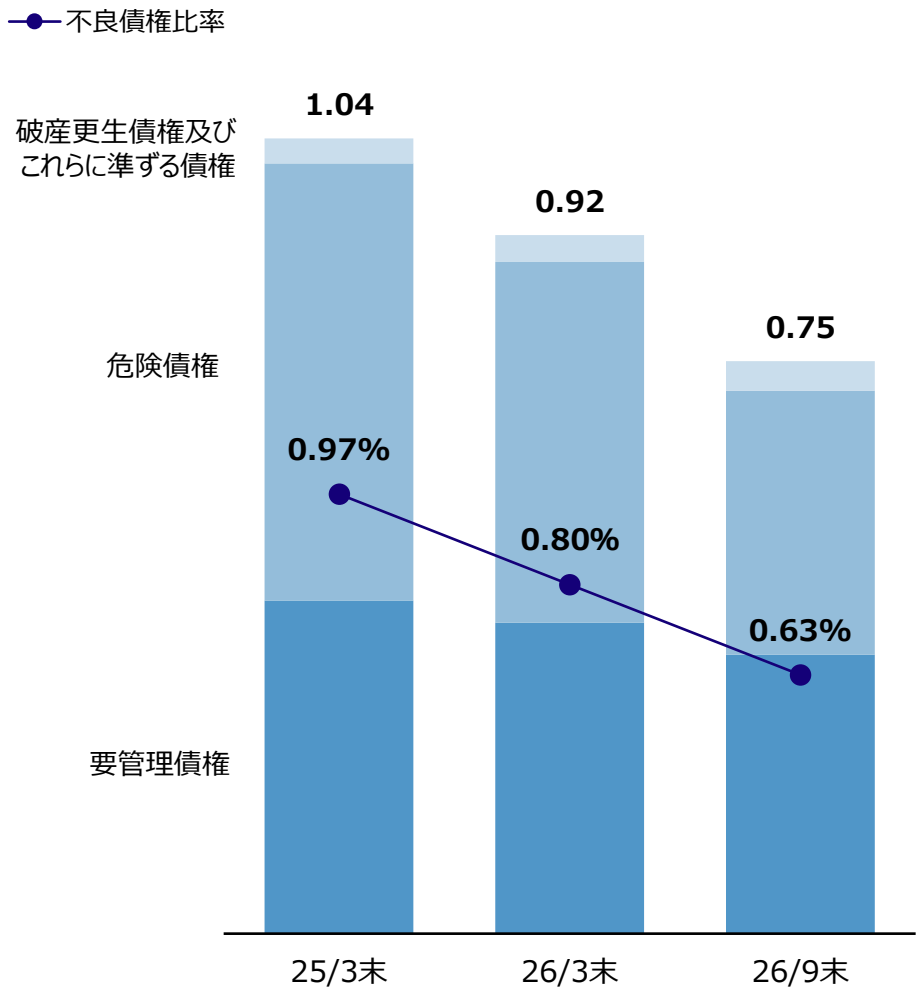
（億円、連結）



FL引当金（末残）	1,074	1,621	1,639

銀行法及び再生法に基づく債権[1]

（兆円、連結）



1. 信託勘定を含む

有価証券ポートフォリオ[1]

その他有価証券

（億円、連結）

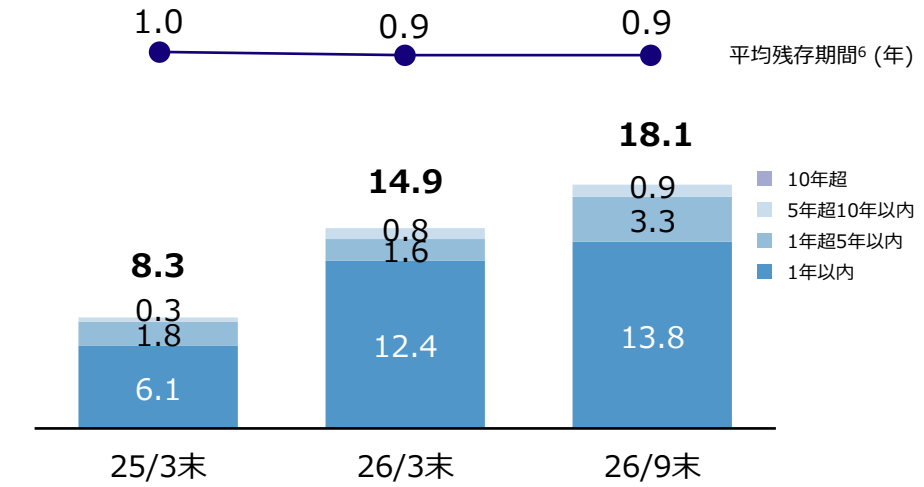
		取得原価		評価差額[2]	
		26/9末	26/3末比	26/9末	26/3末比
A	合計	**382,540**	**+43,233**	**15,263**	**△2,926**
B	株式	6,720	△263	23,071	+155
C	債券	199,332	+30,112	△ 1,874	△536
D	うち国債	*181,856*	*+32,019*	△ *878*	*△338*
E	外国債券	140,076	+8,397	△ 5,092	△1,544
F	うち米国債等[3]	*69,172*	*△2,892*	△ *4,839*	*△1,440*
G	その他	36,412	+4,986	△ 840	△1,000

株式削減

	目標 (25/3-28/3)	実績（26/9末）	
		25/3末比	15/3末比
取得原価	3,500億円 以上削減	△1,392 （応諾込△2,138）	△12,399
みなし保有株式[4]	2,000億円 見通し	△2,832	△12,066

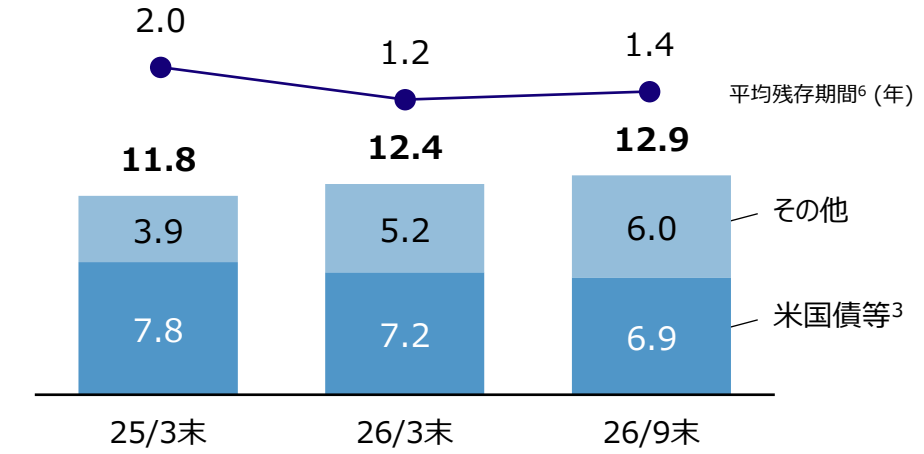
日本国債残高[5]

（兆円、2行合算）



外国債券残高[5]

（兆円、2行合算）

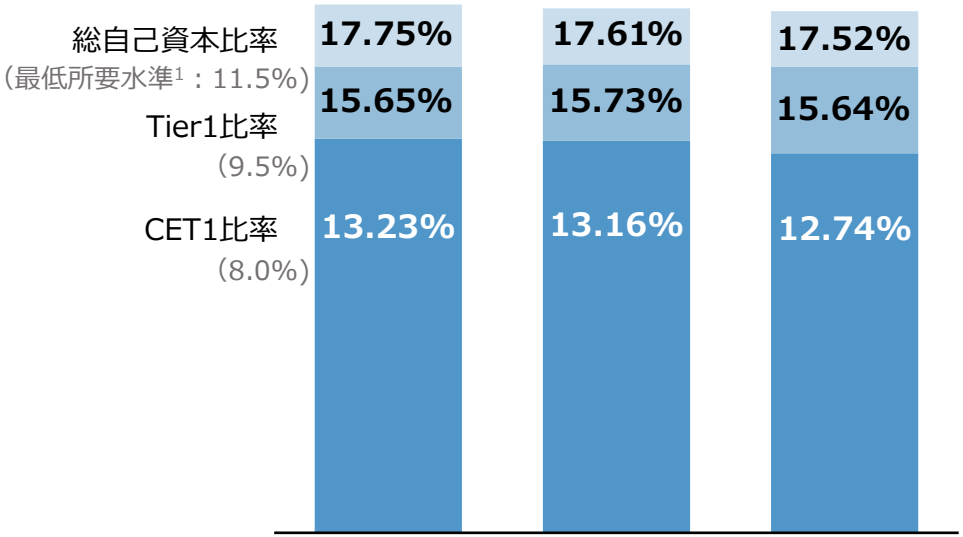


1. その他有価証券で時価のあるもの、組合出資分を除く 2. 純資産直入処理対象分。繰延ヘッジ会計適用分のネット繰延損益を勘案 3. 米国債、GSE債 4. 一部、BK・TBの資産に計上されている金額を含む時価
5. 取得原価、除く満期保有目的債券　6. 内部管理ベース。ヘッジ考慮後、除く満期保有目的債券

バーゼル規制関連

自己資本比率

（億円、連結）



	25/3末	26/3末	26/9末
総自己資本	127,557	142,528	147,526
Tier1資本	112,482	127,335	131,723
CET1資本[2]	95,062	106,505	107,290
AT1資本[3]	17,419	20,830	24,432
Tier2資本	15,075	15,192	15,803
リスクアセット	718,444	809,253	841,854
総エクスポージャー	2,355,438	2,610,457[4]	2,723,022

その他規制比率

（億円、連結）

	25/3末	26/3末	26/9末	（最低所要水準）
レバレッジ比率	4.77%	4.87%	4.83%	（3.7%）
外部TLAC比率				
リスクアセットベース	26.86%	26.38%	26.34%	（18.0%）
総エクスポージャーベース	9.29%	9.30%	9.26%	（7.1%）

	FY24/4Q	FY25/4Q	FY26/2Q	
流動性カバレッジ（LCR）比率	125.1%	123.2%	128.1%	（100.0%）

バーゼルⅢ最終化（完全実施ベース）

	25/3末	26/3末	26/9末
CET1比率	11.1%	10.9%	11.0%
CET1比率（その他有価証券評価差額金を除く）	10.3%	9.9%	10.2%
CET1資本[2]	86,156	93,552	96,442
リスクアセット	832,225	938,766	943,107

1. カウンターシクリカルバッファーを除く 2. 普通株式等Tier1資本 3. その他Tier1資本
4. 2026年5月15日に開示した2025年度 決算の概要における26/3末実績に誤りがあり、修正を行っております（修正前：2,610,514億円）。

2026年度　業績見通し･株主還元

業績見通し

（億円、連結）

	FY25	FY26		
	実績	中間期実績	通期	7月開示比	5月開示比
連結業務純益[1]	14,611	10,994	**19,500**	+2,000	+3,200
与信関係費用	△1,330	△75	**△1,100**	±0	±0
株式等関係損益[2]	2,868	1,700	**3,600**	±0	±0
経常利益	15,731	12,523	**21,800**	+2,000	+3,200
親会社株主純利益	12,486	8,964	**16,000**	+2,000	+3,000

【金融指標の前提】 国内政策金利: 1.25%、日経平均株価: 57,000円、ドル円: 150円

- 足元の堅調な業績を踏まえ、通期業績見通しを引き上げ
- 7月に続き、今期2回目の上方修正

一株あたり配当金

（円）

	FY26	
		5月開示比
中間配当金	**100.0**	+25.0
期末配当金（予想）	**100.0**	+25.0
年間配当金（予想）	**200.0**	+50.0

自己株式取得

（億円）

	FY26	
		7月開示比
自己株式取得累計額（上限）	**4,000**	+2,000

- 利益水準および株主還元のバランスを踏まえて、FY26の年間配当金予想を200円へ増額（5月開示比+50.0円）
- 2,000億円を上限とする追加の自己株式取得を決議。取得株式は全株消却予定
- 上記業績見通しに基づく総還元性向は55%

1. ETF関係損益等を含む 2. ETF関係損益等を除く

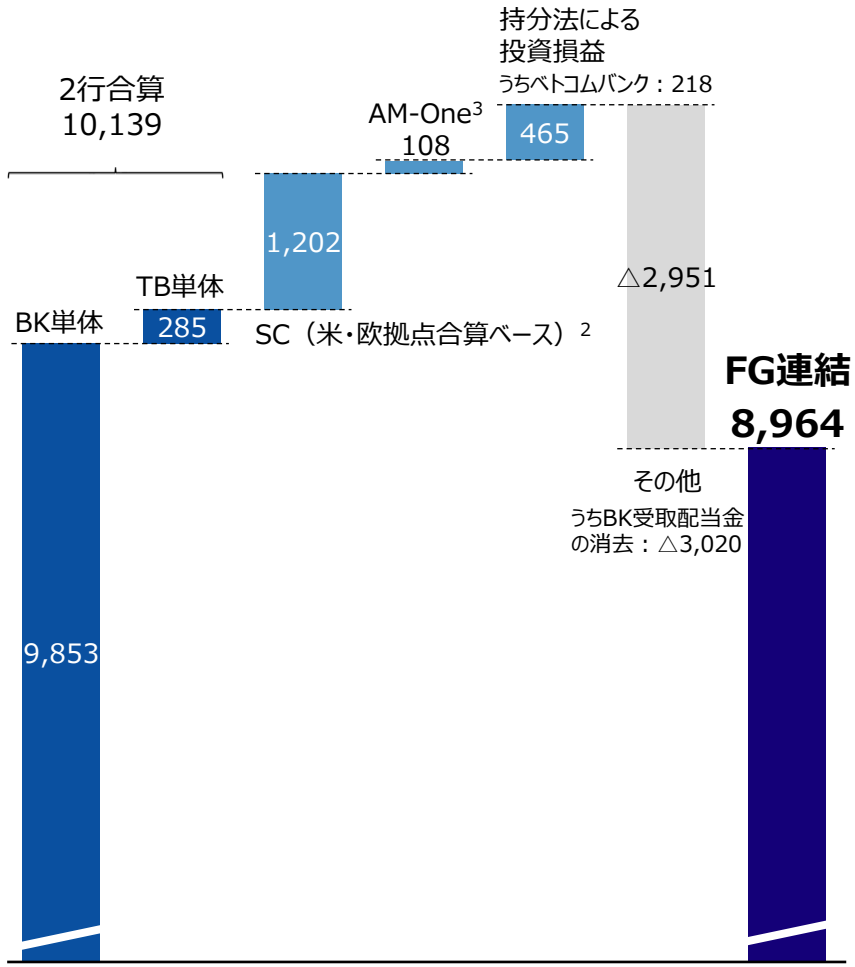
グループ会社別業績

（億円）

業務純益[1]	FY25 中間期	FY26 中間期	前年同期比
BK単体	4,951	10,905	+5,953
TB単体	176	300	+123
SC（米・欧拠点合算ベース）[2]	1,318	1,579	+261
AM-One[3]	115	156	+41
持分法による投資損益	266	465	+198
その他	470	△2,412	△2,883
FG連結	7,299	10,994	+3,695

中間純利益[1]			
BK単体	4,860	9,853	+4,993
TB単体	277	285	+7
SC（米・欧拠点合算ベース）[2]	1,053	1,202	+148
AM-One[3]	88	108	+19
持分法による投資損益	266	465	+198
その他	351	△2,951	△3,302
FG連結	6,899	8,964	+2,065

中間純利益[1]

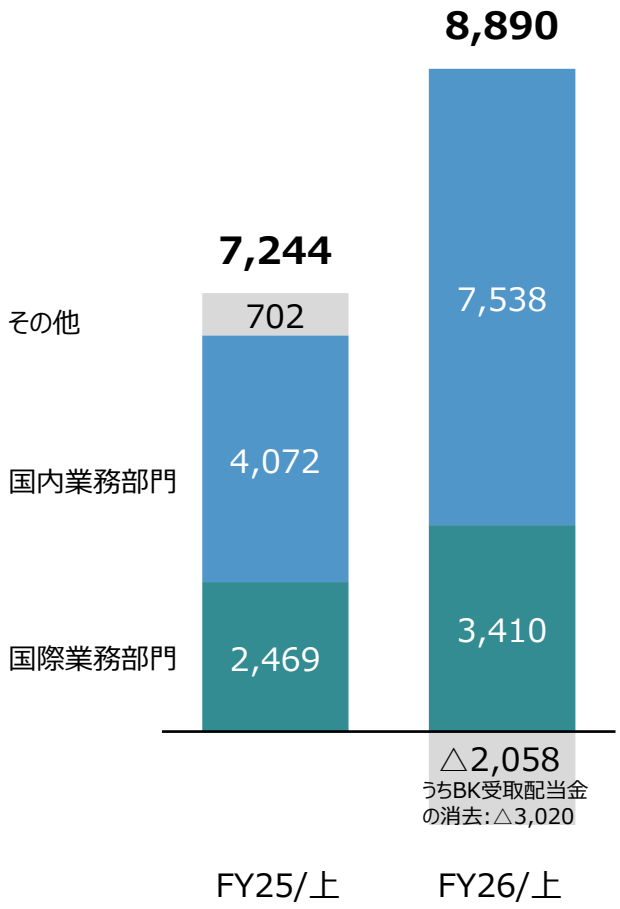


1. ETF関係損益等を含む。連結調整前の概数 2. SC連結計数に、連結対象会社でない米国みずほ証券等の米国拠点及び欧州みずほ銀行（証券部門）を含んだ社内管理ベース。
米国拠点及び欧州みずほ銀行（証券部門）の計数は業務純益815億円、中間純利益607億円 3. 連結、のれん等償却を除く

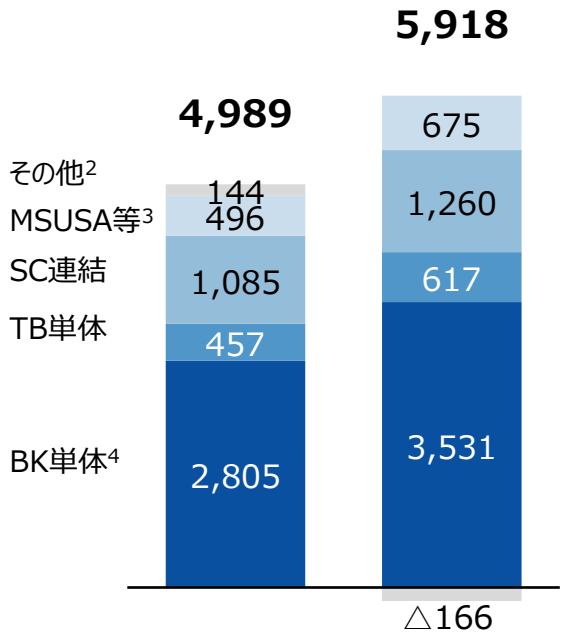
連結粗利益の内訳

（億円）

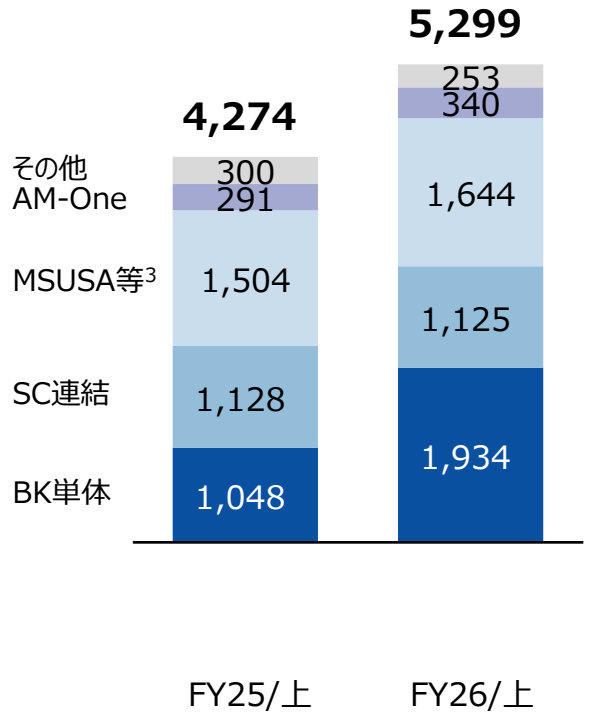
資金利益[1]



役務取引利益＋信託報酬



特定取引利益＋その他業務利益[5]



1. 国内・国際業務部門は2行合算。証券エンティティ資金利益（SC連結およびMSUSA等の米国証券業務拠点の資金利益。トレーディング業務等に係る調達費用）を控除。控除金額はFY25/上△717億円、FY26/上△1,177億円
2. 連結消去対象委託手数料（BK海外支店が現地法人に支払う事務委託手数料のうち、役務取引費用に含まれ、連結消去となるもの）を控除。控除金額はFY25/上 829億円、FY26/上 994億円
3. SC連結対象でない、MSUSA等の米国証券業務拠点 4. BK単体+連結消去対象委託手数料　5. FG連結-国債等債券損益（BK単体）+証券エンティティ資金利益

本資料には、事業戦略及び数値目標等の将来の見通しに関する記述が含まれております。こうした記述は、本資料の作成時点において、入手可能な情報並びに将来の不確実な要因に係る仮定に基づく当社の認識を反映したものであり、将来実現する保証はなく、実際の結果と大きく異なる可能性があります。
当社の財政状態及び経営成績や投資者の投資判断に重要な影響を及ぼす可能性がある事項については、決算短信、有価証券報告書、統合報告書、Form 20-F等、当社が公表いたしました各種資料のうち最新のものをご参照ください。

組織の略称

FG： みずほフィナンシャルグループ
BK： みずほ銀行
TB： みずほ信託銀行
SC： みずほ証券
AM-One： アセットマネジメントOne
RBC： リテール・事業法人カンパニー
CIBC： コーポレート&インベストメントバンキングカンパニー
GCIBC： グローバルコーポレート＆インベストメントバンキングカンパニー
GMC： グローバルマーケッツカンパニー
AMC： アセットマネジメントカンパニー

為替レート

■ 管理会計（FY26）

	計画レート
USD/JPY	150.00
EUR/JPY	178.90

■ 財務会計（期末TTM）

	25/9末	26/3末	26/9末
USD/JPY	148.89	159.93	157.33
EUR/JPY	174.51	183.44	178.30

計数の定義

財務会計

連結業務純益：連結粗利益－経費（除く臨時処理分）＋持分法による投資損益等連結調整
ETF関係損益等：ETF関係損益（2行合算）＋営業有価証券等損益（SC連結）
経費（除く臨時処理分等）：経費（除く臨時処理分）－のれん等償却
経費率：経費（除く臨時処理分等）÷（連結粗利益＋ETF関係損益等）
親会社株主純利益：親会社株主に帰属する中間純利益
2行合算：BK単体+TB単体
普通株式等Tier1比率（その他有価証券評価差額金を除く）：ヘッジ取引による株式含み益の一部固定化効果を含む、内部管理ベース
[分子] その他有価証券評価差額金およびその見合いの繰延ヘッジ損益を控除
[分母] その他有価証券評価差額金（株式）見合いのリスク・アセットを控除

管理会計

顧客部門：RBC、CIBC、GCIBC、AMCの合計
市場部門：GMC
グループ合算：BK、TB、SC、および主要子会社等の合算
カンパニー別業務純益：業務粗利益+ETF関係損益ー経費（除く臨時処理分等）＋持分法による投資損益－のれん等償却
内部リスク資本：：規制上のリスク・アセット、バンキング勘定の金利リスク等に基づき算出されたリスク資本。RBC・CIBC・GCIBCについては、完全実施ベースを使用。速報値
カンパニー別ROE：：当期純利益÷各カンパニーの内部リスク資本、直近12ヵ月